

項 目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-9-3
-----	------------------------	----	-------

事業名	みんな一緒に森林活動フィールド振興事業		
事業費	144 千円	担当部局課	置賜総合支庁福祉課

1 目的

- ① 障がい者が身近に気軽に森林体験活動のできる森林活動フィールドにおいて、地元の森林ボランティアの協力を得、障がい者が気軽に森林体験を行う。
- ② 森の案内人（ボランティア・インストラクター）のスキルアップと経験の充実を図る。

2 事業概要

- ・ 森林体験活動を実施する施設等において活動するボランティアやインストラクターのスキルアップのための研修の実施
- ・ 平成26年度までの事業で掘り起こした活動場所において森林体験活動を実施し、受け入れ側のスキルアップや潜在リスクの発見を図る。

3 成果と課題

参加実績

- ・ 介助案内研修 5/31 源流の森(飯豊町) 参加者30名(森林ボランティア等)
- ・ 森林体験活動 6/16 下小松古墳群(川西町) 参加者59名(障がい者等)
- ・ 10/28 横根の森(小国町) 参加者44名(障がい者等)

課題

- ・ 介助案内研修参加者の地域毎偏りが見られることから、年度毎に事業実施地域を変更し、各地域の案内人が参加しやすい状況を作る。
- ・ 障がい者が森林体験を行う機会は、本事業を除くとほとんど無いため、本事業を継続しながら地域における森林ボランティアの育成・スキルアップを行っていく必要がある。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成28年度みんな一緒に森林活動フィールド振興事業の取組事例】

- 1 介助案内研修・・・5/31 源流の森（飯豊町）で開催
・講義及び実地研修 参加者 30名



- 2 森林体験活動・・・6/16、10/16開催
・6/16 下小松古墳群（川西町） 参加者 59名



- ・10/28 横根の森（小国町） 参加者 44名



項 目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-9-4
-----	------------------------	----	-------

事業名	おきたま森林・自然環境学習推進事業		
事業費	486 千円	担当部局課	置賜総合支庁 森林整備課

1 目 的

- ・ 源流の森における森づくり活動などの支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）の養成。
- ・ 企業や団体及び一般県民が気軽に参加できる森づくりを推進するため、源流の森内における森づくり活動の条件整備。

2 事業概要

源流の森の新たな森づくり活動推進事業（継続）

○ 源流の森「森の案内人」養成講座の開催。

- ・ 2日間の総合講座を1回（6月）、1日間の総合講座を2回（9月・10月）開催する。

場所： 山形県源流の森（飯豊町）

対象者： 森づくり活動などに興味があり、源流の森にてボランティア活動が可能な方。

養成講座終了後に「修了書」を交付するとともに、「源流の森案内人」への登録を依頼。登録者には、源流の森で開催される自然環境学習や森づくり活動のサポートなどで活躍していただく。

○ 源流の森内の森林で、企業や団体、一般県民を対象とした植栽や刈払い、枝打ちなどの森づくり活動を実施するための活動の支援。

- ・ 植栽箇所の整備（地拵え）

3 成果と課題

成果

「森の案内人」養成講座については総合講座と専門講座の実施により5名の案内人が誕生

源流の森の約180haの県有森林の有効活用

課題

○ 森林自然学習、森づくり活動への更なるサポート体制の充実

○ 県民が気軽に、継続的に森づくり活動に参加出来るフィールド整備・体制づくり

○ やまがた絆の森協定後の森づくりや企業の森づくり活動等への誘導

源流の森の活用に向けてのPRの推進

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成28年度おきたま森林・自然環境学習推進事業の取組事例】

源流の森の新たな森づくり活動推進事業

飯豊町 源流の森



源流の森での森づくり活動などの支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）を養成するため、総合講座（6月：2日間）を1回、専門講座（9月、10月：1日間）を2回開催した。受講生は、自然環境への理解や、ネイチャーゲーム、野外活動における救急処置法、昆虫、きのこ、冒険教室などを学んだ。

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わり構築		NO	2-9-5
事業名	出羽庄内公益の森づくり事業			
事業費	603 千円	担当部局課	庄内総合支庁森林整備課	

1 目的

庄内砂丘の海岸林は、厳しい自然との共生の中で培ってきた大いなる遺産であるが、現在、手入れ不足や伝染病である松くい虫被害、さらには、外来種であるニセアカシアの繁殖の脅威にさらされている。この海岸林を、多様な主体の協働により保全し、健全な状態で後世に引き継ぐことを目的とし、下記の活動を実施した。

- ① 多様な主体の協働による海岸林の保全
- ② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

2 事業概要

- ① 多様な主体の協働による海岸林の保全

・出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催…2回

海岸林は、民有林と国有林、普通林と制限林(保安林や自然公園等)、市町の行政区などの複雑な境界線が多く引かれ、管理主体や関係法律も多様である。

この「考える会」では、関係する多様な主体(行政団体、教育機関、林業関係団体、住民団体等)がネットワークを組み、課題を共有し、統一した方針のもとに連携して、協働による砂丘林の保全活動を実施するために、情報・意見交換の場として開催した。

- ② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

・森林ボランティア活動の支援…22回

光ヶ丘森林整備ボランティア、砂防林を育てよう森林整備ボランティア等の活動の企画・運営を行うとともに、各種団体や企業による森づくり活動への技術・安全管理指導と機材の貸し出し等の支援を行った。

・ボランティアリーダーの育成…2回

森林ボランティア活動において、技術・安全管理等の指導的役割を担う人材を養成するための研修を実施した。

1回目:「伐採・集材・搬出作業にかかる安全管理とチェーンソー目立て方法について」

2回目:「松くい虫の生態や松枯れのしくみ及びその予防・駆除等の防除対策について」

・森林環境教育の支援…53回

「地域ふれあい講座」等による海岸林の普及啓発、学習活動の支援として、保育園から高校にいたる各種学校等からの要請を受けて「庄内砂丘林について」等の講話による座学や、枝打ち刈払い等現地での森林整備等の体験活動作業に対する指導、ネイチャーゲーム等による森林環境教育等を行った。

3 成果と課題

【成果】

- 「森づくりを考える会」の継続開催により、多様な団体・機関のネットワークの強化が図られた。
- 森林環境教育やボランティア活動への支援要請に対応できるスタッフ体制強化に取り組んだ結果、実施回数の増大につながり、着実に住民参加の森づくり運動の推進に結びつい

【課題・対応】

- 現在も松くい虫被害が激増するなど海岸林を取り巻く環境は、依然厳しい状況にある。
- 地域住民等と連携した森林環境教育の推進及び地域に根ざした保全活動の展開に取り組む、海岸林の重要性について一層の普及啓発を図り、多様な主体の協働による保全活動を展開する。

やまがた緑県民税を活用した取組み 【平成28年度出羽庄内公益の森づくり事業の取組み事例】

① 多様な主体の協働による海岸林の整備

【出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催】 協働による海岸林の保全のための意見情報交換:実績3回



意見情報交換



現地検討会



② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

【森林ボランティア活動の支援】 実績22回
ボランティア活動の企画・運営、現地指導等



光ヶ丘森林整備

【ボランティアリーダーの育成】 実績2回
ボランティア活動における指導的人材の養成研修



伐木等安全管理研修

【森林環境教育の支援】 海岸林に関する講話、森林整備体験活動の指導等の実施:実績53回



酒田光稜高校生講義



酒田一中生 枝打ち体験活動